


くすりのしおり・注射版

2008年7月改訂(第2版)

<p>この薬の名前は</p>	<p>・商品名: エピペン注射液0.3mg</p>	<p>・商品名:Epipen Injection 0.3mg ・一般名:アドレナリン Adrenaline</p> 
<p>この薬の働きは</p>	<p>・ 蜂刺され、食物、薬物などによる急なアナフィラキシー反応の症状を緩和します。 * 蜂刺され、食物、薬物などによるアレルギーを治すものではありません。</p>	
<p>注射の前に確認すること</p>	<p>・ 次のような人は使用前に主治医に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前に薬を飲んで、または注射を受けて、発しんやかゆみなどがでたことがある。 ・ 以前にアドレナリンの注射を受けて、発しんやかゆみなどがでたことがある。 ・ ピロ亜硫酸塩を含む薬を飲んで、または注射を受けて、発しんやかゆみなどがでたことがある。 ・ 以前に交感神経作動薬を飲んで、または注射を受けて、発しんやかゆみなどがでたことがある。 ・ 現在、以下の病気にかかっている。 動脈硬化症、甲状腺の機能が低い、糖尿病、不整脈、精神神経症、コカイン中毒 ・ 体重が30kg未満である。 ・ ハロタンなどのハロゲン含有吸入麻酔薬、または抗精神病薬、α遮断薬を使っている。 ・ 妊娠または妊娠している可能性がある、授乳中である。 ・ 他に薬を使っている場合（薬局で買った薬も） <p>・ この注射を行う期間:1回投与の注射剤です。</p> <p>・ 注射の方法:黒い先端を太ももの前外側に、強く押し付けることにより、筋肉内に注射します。注射終了後、注射したところを数秒間もんでください。この注射を行うタイミングは、一般的に、急なアレルギー反応（アナフィラキシーなど）の兆しや症状を感じたときに投与しますが、具体的な注射方法等については、主治医にお聞きください。</p> <p>・ その他:使用時まで灰色の安全キャップは取り外さないでください。</p>	
<p>副作用について</p>	<p>薬は人によって、目的の効果以外に、望ましくない作用が出る場合があります。 ◎次のような症状に気づいたら、すぐに主治医や薬剤師、看護師に申し出てください: 〈肺水腫〉体動時の動悸、呼吸困難、起坐呼吸（横になるより坐っている時に呼吸が楽になる）、吐き気、嘔吐、頻脈、ピンク色の泡沫状の痰 〈呼吸困難〉呼吸をしにくい 〈心停止〉脈拍数の増加、不整脈、動悸、胸が苦しいまたは圧迫される感じ</p> <p>◆次のような症状に気づいたら、早めに主治医や薬剤師、看護師に相談してください: ◇上記のほかにも次のような副作用がでることがあります: 〈心悸亢進〉動悸 〈頭痛〉 〈めまい〉 〈不安〉不安や落ち着かない感じ 〈振戦〉手足の震え 〈過敏症状〉 〈悪心・嘔吐〉 〈熱感〉 〈発汗〉</p> <p>・ 他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。</p>	
<p>注射のあとに注意すること</p>	<p>・ この薬剤は、緊急時の治療の補助をするものであり、医療機関の治療の代わりになるものではありません。注射後は、直ちに医師の診療を受けてください。</p> <p>・ 注射後も薬液の大部分が注射器内に残っていますが、針が出ていれば薬剤が投与されています。また、薬液が残っていても再度注射することはできません。</p> <p>・ 誤って指または手などに注射した場合、痛みを感じて、蒼白になることがあります。直ちに最寄りの医療機関を受診してください。</p>	
<p>その他</p>	<p>・ 指示された指導・注意を守り、日頃から使用方法等を練習しておいてください。</p> <p>・ この薬剤は光で分解しやすいため、冷所または日光の当たる高温下を避け、携帯用ケースで15～30℃の状態でご保存してください。</p> <p>・ 有効期限に注意してください。また、薬液が変色していたり、沈殿物がみつかったりした場合には使用しないでください。</p> <p>・ 飛行機内に持ち込む場合は、所持品検査時のトラブルを避けるため、予約時に持ち込む旨連絡することをお奨めします。</p> <p>・ 危険ですので、絶対に分解をしないでください。</p>	
<p>主治医の連絡先</p>	<p>薬局の連絡先</p>	

*ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたい時は、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。